

二二八一番

朝露あさつゆに 咲さきすさびたる 月草つきくさの 日ひくたつなへ
に 消けぬべく思おもほゆ

二二八二番

長ながき夜よを 君きみに恋こひつつ 生いけらずは 咲さきて散ち
りにし 花はなならましを

二二八三番

我わ妹ぎも子こに 逢坂山あふさかやまの はだすすき 穂ほには咲さき出で
ず 恋こひ渡わたるかも

二二八四番

ゆくりなく 今いまも見みが欲ほし 秋萩あきはぎの しなひにあ
るらむ 妹いもが姿すがたを